

VOCAL MASTERCLASS

清水 華澄 (Mezzo Soprano)



静岡県出身。国立音楽大学声楽科卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第4期生修了。04年より文化庁在外派遣研修員として1年間ボローニャへ留学。留学中にウィーン・バーデン市から招聘され、同市立劇場『こうもり』オルロフスキーに出演、06年に同市100周年記念公演で同役を再び出演。第6回カルロス・ゴメス国際コンクール(07年イタリア・トリノ、リヴァルバ)第2位受賞。

07年東京二期会『仮面舞踏会』ウルリカで二期会デビューを飾る。09年新国立劇場『ワルキューレ』グリムゲルデ、『神々の黄昏』第二のノルン、『チェネレントラ』ティーズベでは、カサロヴァを始め豪華外人キャストとの共演の中で、存在感溢れる演唱で高い評価を得た。10年新国立劇場/高校生のための鑑賞教室『カルメン』タイトルロール、11年びわ湖ホール・神奈川県民ホール・東京二期会共同制作『アイダ』アムネリス、東京二期会『フィガ

ロの結婚』マルチェリーナの豊麗な美声と存在感で好評を博し、サイトウ・キネン・フェスティバル松本『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル(演出:森安淳 指揮:三ツ橋敬子/小澤征爾音楽塾オーケストラ)、小澤征爾音楽塾中国ツアー北京公演及び上海公演で、ベートーヴェン「合唱幻想曲」アルトソロ、新国立劇場公演『ルサルカ』第3の森の精と快進撃を続けている。12年1月にはNHKニューイヤーオペラコンサートにも初登場し、以後も出演を重ねている。12年二期会創立60周年・パルマ王立歌劇場との共同制作『ナブッコ』フェネーナで出演。同年4月に新国立劇場『オテロ』エミーリア、7月には東京二期会『カヴァレリア・ルスティカーナ』(新制作)サントウツァ、さらに12年日生劇場開場50周年記念のオペラ『メデア』(10年2月ウィーン国立歌劇場で世界初演を果たしたライマンの最新作)にゴラ役で出演。14年『ドン・カルロ』では待望のエボリ公女のドラマティックかつ繊細な感情表現を兼ね備えた演唱で新境地を拓き、同年11月には日生劇場『アイナダマール』(日本初演)ロルカ等でも絶賛を浴びた。2016年2月東京二期会『イル・トロヴァトーレ』アズチューナ、同年7月、佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ『真夏の夜の夢』ヒポリタでも好評を博した。マーラー「復活」、ベートーヴェン「第九」など、コンサートソリストとしても活躍している。確かな歌唱力と実力を備え、今後次世代を担う逸材として、益々の活躍が期待されている。

2017年4月新国立劇場『オテロ』エミーリア、11月 NISSAY OPERA2017『ルサルカ』イェジババ(魔法使い)に出演予定。二期会会員

♪声楽公開レッスン♪

2017年2月10日(金) 13:00~16:10(予定)

会場:名古屋音楽大学 めいおんホール (名古屋市中村区稲葉地町7丁目1)

受講生: 本学声楽コース学部生、大学院生から選抜

【入場・聴講自由】

名古屋音楽大学 声楽コース